



Trend Micro Toolbox™

管理者ガイド



※注意事項

トレンドマイクロのお客様情報の送信について

・「Web レビューションサービス」「フィッシング詐欺対策」「ペアレンタルコントロール/URL フィルタリング」「Trendツールバー」「ユーザーへイビアモニタリング」等について
①トレンドマイクロでは、お客様がアクセスした Web ページの安全性の確認のため、これらのお客様より受領した情報にもとづき、お客様がアクセスする Web ページのセキュリティチェックを実施します。なお、お客様がアクセスした URL の情報等(ドメイン、IP アドレス等を含む)は、暗号化してトレンドマイクロのサーバに送信されます。サーバに送信された URL 情報は、Web サイトの安全性の確認、およびこれらの機能の改良の目的にのみ利用されます。

②これらの機能を有効にしたうえで、Web ページにアクセスした場合、以下の事象がおこることがありますのでご注意ください。

お客様がアクセスした Web ページの Web サーバ側の仕様が、お客様が入力した情報等を URL のオプション情報として付加し Web サーバへ送信する仕様の場合、URL のオプション情報にお客様の入力した情報(ID、パスワード等)などを含んだ URL がトレンドマイクロのサーバに送信され、当該 Web ページのセキュリティチェックが実施されます。

お客様がアクセスする Web ページのセキュリティチェックを実施する仕様になっていることから、お客様がアクセスする Web サーバ側の仕様によっては、URL のオプション情報に含まれる内容により、お客様の最初のリクエストと同様の処理が行われます。

・「ファイルレビューションサービス」では、ファイルの安全性の判定のために、ファイルのハッシュ値等の情報をトレンドマイクロのサーバに送信します。ファイルそのものや、ファイルの内容に関する情報は送信しません。

・「ソフトウェア安全性評価サービス/脅威情報の送信」では、プログラムの安全性の判定のために、プログラムまたはプログラムの情報をトレンドマイクロのサーバに送信します。

・「ウイルスストッキング/TrendCare プログラム」では、検出されたウイルス/脅威名、検出数、国/地域、感染元となった Web サイトの URL を、統計を取るためにトレンドマイクロのサーバに送信します。

・「迷惑メール対策ツール」では、弊社製品の改良の目的および迷惑メールの判定精度の向上のため、トレンドマイクロのサーバに該当メールを送信します。また、迷惑メールの削減、迷惑メールによる被害の抑制を目指している政府関係機関に対して迷惑メール本体を開示する場合があります。

・「E-mail レビューションサービス」では、スパムメールの判定のために、送信元のメールサーバの情報等をトレンドマイクロのサーバに送信します。

・「スマートファイードバック」では、脅威に関する情報を収集、分析し保護を強化するために、不正な動きをする可能性があるとトレンドマイクロが判断したファイル、ファイルのチェックサム、アクセスされた Web アドレス、サイズやバス等のファイル情報、実行ファイルの名前等の情報をトレンドマイクロのサーバに送信します。送信された情報はプログラムの安全性の判定のために利用されます。また情報にお客様の個人情報や機密情報等が意図せず含まれる可能性がありますが、トレンドマイクロがファイルに含まれる個人情報や機密情報自体を収集または利用することはありません。お客様から収集された情報の取り扱いについての詳細は、

<http://jp.trendmicro.com/jp/about/privacy/snp/index.html>をご覧ください。

・「ユーザーへイビアモニタリング」では、トレンドマイクロ製品の改良の目的のために、お客様がトレンドマイクロ製品をどのような設定にして利用しているのかがわかる設定の情報およびお客様がトレンドマイクロ製品をどのように操作したのかがわかる操作履歴の情報を、匿名でトレンドマイクロのサーバに送信します。なお、「ユーザーへイビアモニタリング」は、「スマートファイードバック」と連動しており、お客様が「スマートファイードバック」の設定を有効もしくは無効とした場合は、「ユーザーへイビアモニタリング」も有効もしくは無効とした状態に変更されます。よって、「スマートファイードバック」と「ユーザーへイビアモニタリング」のどちらか一方のみを有効もしくは無効することはできません。 「Web レビューションサービス」「Trendツールバー」等による Web サイトのセキュリティ上の判定はトレンドマイクロの独自の基準により行われております。当該機能において判定された Web サイトのアクセス可否の最終判断につきましては、お客様にてお願いします。

輸出規制について

お客様は、本製品およびそれらにおいて使用されている技術(以下「本ソフトウェア等」といいます)が、外国為替および外国貿易法、輸出貿易管理令、外国為替令および省令、ならびに、米国輸出管理規則に基づく輸出規制の対象となる可能性があること、ならびにその他の国における輸出規制対象品目についての可能性があることを認識の上、本ソフトウェア等を適正な政府の許可なくして、禁輸国もしくは貿易制裁の企業、居住者、国民、または、取引禁止者、取引禁止企業に対して、輸出もしくは再輸出しないものとします。

お客様は、2011 年 4 月現在、米国により定められる禁輸国が、キューバ、イラン、北朝鮮、スーダン、シリアであること、禁輸国に関する情報が、以下のウェブサイトにおいて検索可能であること、ならびに本ソフトウェア等に関連した米国輸出管理法令の違法行為に対して責任があることを認識の上、違法行為が行われないよう、適切な手段を講じるものとします。

<http://www.treas.gov/offices/enforcement/ofac/>

<http://www.bis.doc.gov/complianceand enforcement/ListsToCheck.htm>

また、お客様が本ソフトウェア等を使用する場合、米国により現時点で輸出を禁止されている国の居住者もしくは国民ではないこと、および本ソフトウェア等を受け取ることが禁止されていないことを認識し、お客様は、本ソフトウェア等を、大量破壊を目的とした、核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイルの開発、設計、製造、生産を行うために使用しないことに同意するものとします。

複数年契約について

・お客様が複数年契約(複数年分のサポート費用前払い)された場合でも、各製品のサポート期間については、当該契約期間によらず、製品ごとに設定されたサポート提供期間が適用されます。

・複数年契約は、当該契約期間中の製品のサポート提供を保証するものではなく、また製品のサポート提供期間が終了した場合のバージョンアップを保証するものではありませんのでご注意ください。

・各製品のサポート提供期間は以下の Web サイトからご確認いただけます。

<http://jp.trendmicro.com/jp/support/lifecycle/index.html>

著作権について

本書に関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書の記述に誤りや欠落があつてもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本書およびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TRENDMICRO、ウイルスバスター、ウイルスバスター On-Line-Scan、PC-cillin、InterScan、INTERSCAN VIRUSWALL、ISVW、InterScanWebManager、ISWM、InterScan Message Security Suite、InterScan Web Security Suite、IWSS、TRENDMICRO SERVERPROTECT、PortalProtect、Trend Micro Control Manager、Trend Micro MobileSecurity、VSAPI、トレンドマイクロ・プレミアム・サポート・プログラム、License for Enterprise Information Security、LEISec、Trend Park、Trend Labs、InterScan Gateway Security Appliance、Trend Micro Network VirusWall、Network VirusWall Enforcer、Trend Flex Security、LEAKPROOF、Trend プロテクト、Expert on Guard、InterScan Messaging Security Appliance、InterScan Web Security Appliance、InterScan Messaging Hosted Security、DataDNA、Trend Micro Threat Management Solution、Trend Micro Threat Management Services、Trend Micro Threat Management Agent、Trend Micro Threat Mitigator、Trend Micro Threat Discovery Appliance、Trend Micro USB Security、InterScan Web Security Virtual Appliance、InterScan Messaging Security Virtual Appliance、Trend Micro Reliable Security License、TRSL、Trend Micro Smart Protection Network、Smart Protection Network、SPN、SMARTSCAN、Trend Micro Kids Safety、Trend Micro Web Security、Trend Micro IM Security、Trend Micro Email Encryption、Trend Micro Email Encryption Client、Trend Micro Email Encryption Gateway、Trend Micro Collaboration Security、Trend Micro Portable Security、Portable Security、Trend Micro Standard Web Security、トレンドマイクロ アグレッシブスキャナー、Trend Micro Hosted Email Security、Hosted Email Security、Trend Micro Deep Security、ウイルスバスタークラウド、ウイルスバスターCLOUD、Smart Surfing、スマートスキャナー、Trend Micro Instant Security、Trend Micro Enterprise Security for Gateways、Enterprise Security for Gateways、Trend Micro Email Security Platform、Trend Smart Protection、Vulnerability Management Services、Trend Micro Vulnerability Management Services、Trend Micro PCI Scanning Service、Trend Micro Titanium、Trend Micro Titanium AntiVirus Plus、Smart Protection Server、Deep Security、Worry Free Remote Manager、ウイルスバスター ビジネスセキュリティサービス、HOUSECALL、SafeSync、トレンドマイクロ オンラインストレージ SafeSync、Trend Micro InterScan WebManager SCC、Trend Micro NAS Security、Trend Micro Data Loss Prevention、TREND MICRO ENDPOINT ENCRYPTION、Securing Your Journey to the Cloud、Trend Micro オンラインスキャナー、Trend Micro Deep Security Anti Virus for VDI、Trend Micro Deep Security PCI DSS、Trend Micro Deep Security Virtual Patch、Trend Micro Threat Discovery Software Appliance、および SECURE CLOUD は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本書に記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

Copyright © 2012 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

P/N: OSEM15312_120106_JP (2012/04)

目次

概要	3
主要機能と利点	3
Trend Micro Toolboxの管理	4
ツールボックスのインストール	4
システム要件	4
Trend Micro Toolboxのインストール方法	4
Trend Micro Toolboxの管理方法	5
Trend Micro Toolboxのアップグレード	5
Trend Micro Toolboxのアップグレード方法	5
Trend Micro Toolboxのアンインストール	6
プラグインマネージャコンソールからのTrend Micro Toolboxのアンインストール	6
クライアントツリー	7
クライアントツリーの機能	7
クライアントツリーの同期	8
ツールの配信	9
配信情報	9
IPアドレスの検索	10
	10
管理設定	11
ログ設定	11
フィードバック設定	11
トレンドマイクロへのフィードバックの送信	12
アップデート設定	13
サポート情報	14
製品サポート情報	14
サポートサービスについて	14
製品Q&A のご案内	14
付録A: ステータス情報	15
ツールの配信ステータス	15
結果のステータス	15

概要

Trend Micro Toolbox™ は、トレンドマイクロの各種スタンダードアロンツールを管理および配信するフレームワークとして機能するプラグインプログラムです。ツールボックスは、ウイルスバスター Corp. サーバのクライアントツリー階層を利用して、ウイルスバスター Corp. サーバで管理されるクライアントに各種ツールを配信します。

ツールの機能や使用に関する詳細な情報は、ツールと一緒にダウンロードされるReadmeファイルで確認できます。

ツールで情報を収集した場合、管理者は、ツールで収集されたすべてまたは特定の情報を分析のためにトレンドマイクロに送信することができます。トレンドマイクロでは、分析して得た情報に基づいて、日々変化する脅威への新しいソリューションを開発し、すべてのお客さまに提供しています。



注:

トレンドマイクロに送信されたすべての情報は、機密情報として厳重に管理されます。

主要機能と利点

Trend Micro Toolboxは、以下の機能および利点を提供します。

- スタンダードアロンツールの管理

トレンドマイクロが設計した各種のツールを管理して、お客さまのコンピューティング環境のセキュリティを高めることができます。ツールボックスは、複数のウイルスバスター Corp. クライアントへのツールの配信やそれらのツールの管理を行うための使いやすいフレームワークです。

- ログの統合と管理

管理者が簡単にアクセスして確認できるように、ツールで生成されるログが自動的に収集されます。管理者は、ツールの配信の履歴や結果を確認したり、ログの保存期間を管理したりできます。

詳しくは、[「ログ設定」](#)を参照してください。

- ツールのアップデート

過去にダウンロードしたツールの最新のアップデートを自動または手動でダウンロードできます。

Trend Micro Toolboxの管理

Trend Micro Toolboxのインストールはウイルスバスター Corp. とは別に行います。ツールボックスの管理コンソールは、ウイルスバスター Corp. Webコンソールからアクセスできます。

ツールボックスのインストール

Trend Micro Toolboxは、プラグインマネージャコンソールに表示されます。コンソールで、プログラムをダウンロードしてインストールし、管理することができます。ツールボックスのインストールパッケージは、プラグインマネージャによってトレンドマイクロのアップデートサーバまたはユーザ指定のアップデート元（正しく設定されている場合）からダウンロードされます。トレンドマイクロのアップデートサーバからパッケージをダウンロードするには、インターネット接続が必要です。

プラグインマネージャによってインストールパッケージがダウンロードされるか、インストールが開始されると、他のプラグインプログラム機能のダウンロード、インストール、アップグレードなどは一時的に無効になります。

Trend Micro Control Managerのシングルサインオン機能は、プラグインプログラムのインストールや管理をサポートしていません。

システム要件

ウイルスバスター Corp. のシステム要件に準じます。

Trend Micro Toolboxのインストール方法

1. ウイルスバスター Corp. Webコンソールを開いて、メインメニューで [プラグインマネージャ] をクリックします。
2. [プラグインマネージャ] 画面で、Trend Micro Toolboxのセクションに移動し、[ダウンロード] をクリックします。[ダウンロード] ボタンの横に、プラグインプログラムパッケージのサイズが表示されます。
3. Trend Micro Toolboxの使用許諾契約画面が表示されます。
4. ダウンロードが完了したら、[インストール] をクリックしてインストールを開始します。

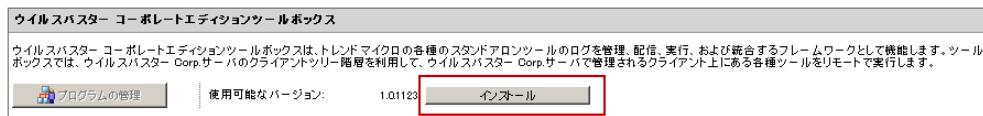


図 1 : Trend Micro Toolboxの [インストール] ボタン

4. 使用許諾条項に同意できる場合は[同意する]をクリックしてインストールを続行します。ツールボックスをインストールせずに画面を閉じる場合は、[同意しない]をクリックします。
5. インストールの進行状況を確認できます。



図 2 : Trend Micro Toolboxのインストールの進行状況

プラグインマネージャによってパッケージがインストールされると、[プラグインマネージャ] 画面が表示されます。

インストールが終了すると、現在のプラグインプログラムのバージョンが表示されます。これで、プラグインプログラムの管理を開始できます。

Trend Micro Toolboxの管理方法

1. ウイルスバスター Corp. Webコンソールを開き、メインメニューから [プラグインマネージャ] をクリックします。
2. [プラグインマネージャ] 画面で、Trend Micro Toolboxのセクションに移動し、[プログラムの管理] をクリックします。



図 3 : Trend Micro Toolboxの [プログラムの管理] ボタン

Trend Micro Toolboxのアップグレード

プラグインマネージャコンソールには、ツールボックスの新しいバージョンが表示されます。コンソールで、アップグレードパッケージをダウンロードし、プログラムをアップグレードすることができます。アップグレードパッケージは、プラグインマネージャによってトレンドマイクロのアップデートサーバまたはユーザ指定のアップデート元（正しく設定されている場合）からダウンロードされます。トレンドマイクロのアップデートサーバからパッケージをダウンロードするには、インターネット接続が必要です。

プラグインマネージャによってインストールパッケージがダウンロードされるか、アップグレードが開始されると、他のプラグインプログラム機能のダウンロード、インストール、アップグレードなどは一時的に無効になります。

Trend Micro Control Managerのシングルサインオン機能は、プラグインプログラムのアップグレードをサポートしていません。

Trend Micro Toolboxのアップグレード方法

1. ウイルスバスター Corp. Webコンソールを開いて、メインメニューで [プラグインマネージャ] をクリックします。
2. [プラグインマネージャ] 画面で、Trend Micro Toolboxのセクションに移動し、[ダウンロード] をクリックします。[ダウンロード] ボタンの横に、アップグレードパッケージのサイズが表示されます。



図 4 : Trend Micro Toolboxの [ダウンロード] ボタン

3. ダウンロードの進行状況を確認できます。ダウンロード中に別の画面に移動しても、アップグレードには影響しません。

注:

パッケージのダウンロード中に問題が発生した場合は、ウイルスバスター Corp. Webコンソールでサーバアップデートログを確認してください。メインメニューで、[ログ]→[サーバアップデートログ] の順にクリックします。

4. プラグインマネージャ画面が表示されます。

注:

アップグレードの後、プラグインマネージャサービスの再起動が必要な場合があります。再起動中、[プラグインマネージャ] 画面が一時的に使用できなくなります。[プラグインマネージャ] 画面が使用可能になると、現在のプラグインプログラムのバージョンが表示されます。

Trend Micro Toolboxのアンインストール

Trend Micro Toolboxをアンインストールするには、いくつかの方法があります。

- ・ プラグインマネージャコンソールからTrend Micro Toolboxをアンインストールします。
- ・ ウイルスバスター Corp. サーバをアンインストールします。これによって、プラグインマネージャおよびインストールされているすべてのプラグインプログラムがアンインストールされます。ウイルスバスター Corp. サーバをアンインストールする手順については、ウイルスバスター Corp. の「インストールガイド」を参照してください。

プラグインマネージャコンソールからのTrend Micro Toolboxのアンインストール

1. ウイルスバスター Corp. Webコンソールを開いて、メインメニューで [プラグインマネージャ] をクリックします。
2. [プラグインマネージャ] 画面で、Trend Micro Toolboxのセクションに移動し、[アンインストール] をクリックします。

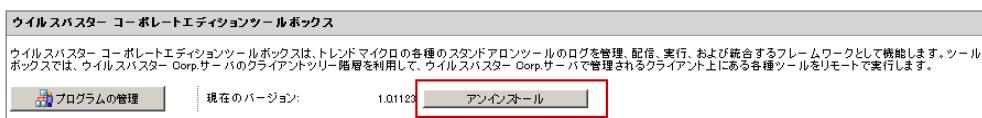


図 5 : Trend Micro Toolboxの [アンインストール] ボタン

3. アンインストールの進行状況を確認できます。アンインストール中は、進行状況を示す画面から別の画面に移動できます。
4. アンインストールが完了すると、Trend Micro Toolboxが再びインストール可能になります。

クライアントツリー

このクライアントツリーには、現在サーバで管理している（ウイルスバスター Corp. ドメインにグループ分けされた）すべてのクライアントが表示されます。クライアントはドメインにグループ分けされているため、同じ設定をすべてのドメインメンバーに同時に設定、管理、および適用できます。

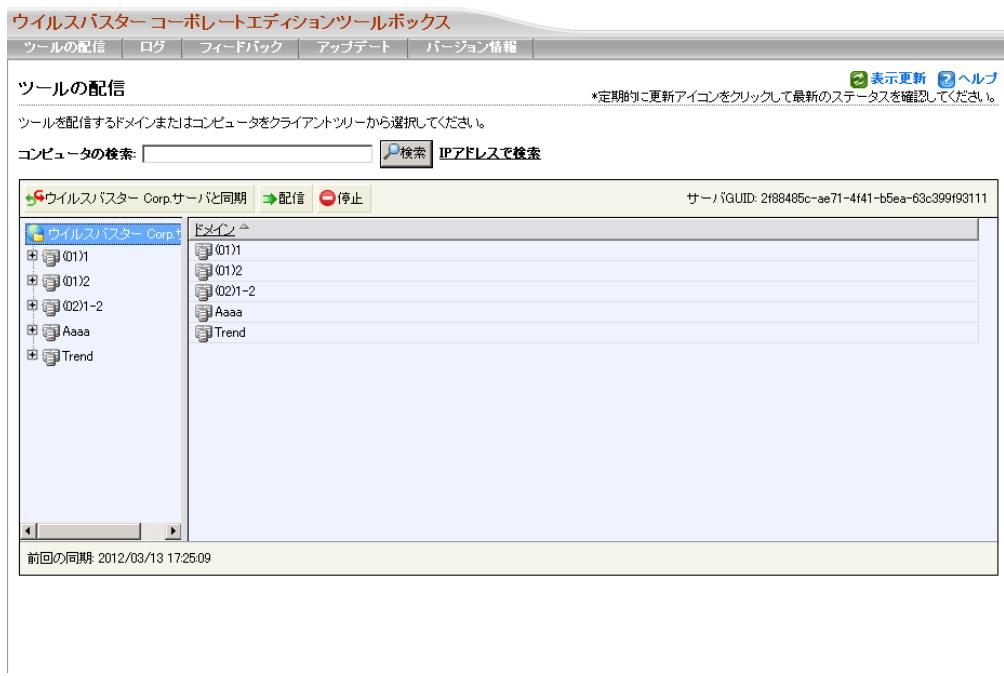


図 6：クライアントツリー

クライアントツリーの機能

クライアントツリーは、WebコンソールでTrend Micro Toolboxを管理するときに表示されます。クライアントツリーの上部には、ツールボックスに固有のメニュー項目が表示されます。これらのメニュー項目を使用して、クライアントへのツールの配信など、特定のタスクを実行できます。タスクを実行するには、最初にタスクの対象（特定のドメインまたは1つ以上のクライアント）を選択し、次にメニュー項目を選択します。

クライアントツリーでは次の機能を使用できます。

- ・ [コンピュータの検索]：テキストボックスに検索条件を入力して特定のコンピュータを検索します。
- ・ [IPアドレスで検索]：ハイパーリンクをクリックすると、[IPアドレスで検索] 画面が表示されます。テキストボックスにIPアドレスを入力して特定のコンピュータを検索します。複数のIPアドレスを入力する場合は、改行するかカンマで区切ってください。
- ・ [ウイルスバスター Corp. サーバと同期]：ツールボックスのクライアントツリーをウイルスバスター Corp. サーバのクライアントツリーと同期します。詳細については、「[クライアントツリーの同期](#)」を参照してください。
- ・ [配信]：選択したクライアントにツールを配信します。詳細については、「[ツールの配信](#)」を参照してください。
- ・ [停止]：選択したクライアントへのツールの配信を中止します。中止コマンドがすべてのクライアントに適用されるまでには、しばらくかかります。

クライアントツリーからコンピュータやドメインを手動で探すこともできます。右のパネルに特定のコンピュータの情報が表示されます（「[配信情報](#)」を参照）。

クライアントツリーの同期

ツールボックスでエンドポイントにツールを配信する前に、クライアントツリーをウイルスバスター Corp. サーバと同期しておく必要があります。

1. ツールボックスのコンソールを開きます。
2. [ツールの配信] タブで、[ウイルスバスター Corp. サーバと同期] をクリックします。
3. 確認メッセージが表示されます。
4. 同期が完了するまで少し時間がかかります。同期が完了すると、「クライアントツリーをウイルスバスター Corp. と同期しました。」というメッセージが表示されます。

 **注:**

スケジュールされた同期をすでに実行中の場合は、その同期の完了後に手動同期が自動的に実行されます。

4. [閉じる] をクリックして [ツールの配信] 画面に戻ります。

ツールの配信

Trend Micro Toolboxでは、1つのドメインまたは複数のウイルスバスター Corp. クライアントにツールを配信できます。

1. Trend Micro Toolboxのコンソールを開きます。[ツールの配信] 画面が表示されます。
2. 次のいずれかを使用して、対象のドメインまたはクライアントを選択します。
 - ・ [コンピュータの検索]: テキストボックスにドメインまたはクライアントの名前を入力し、[検索] をクリックします。
 - ・ [IPアドレスで検索]: 詳細については、「[IPアドレスの検索](#)」を参照してください。
3. 対象のドメインまたはクライアントをクリックします。複数のクライアントを選択する場合は、<Ctrl>キーまたは<Shift>キーを押しながらクリックします。
4. [配信] をクリックします。

[配信設定] 画面が表示されます。
5. 次のいずれかをクリックして、配信するツールを選択します。
 - ・ [次のリストから選択]: ドロップダウンリストから利用可能なツールを選択します。
 - ・ [インターネットからダウンロード]: ツールをダウンロードするURLを入力します。
 - ・ [ローカルコンピュータからインポート]: ダウンロード済みのツールのファイルパスとファイル名を入力します。
6. (オプション) 下矢印をクリックして [詳細設定] セクションを展開します。
 - ・ [ツールにパラメータを指定して実行する] をクリックします。トレンドマイクロからパラメータを指定された場合、入力します。



注:

トレンドマイクロが個別のお客様へ提供するカスタムツールは、追加のパラメータが必要な場合があります。標準のツールは基本的に追加のパラメータは必要ありません。パラメータの詳細は付属のドキュメント、または製品Q&Aを参照ください。

7. [配信] をクリックします。

[ツールの配信] 画面が表示されます。
8. 選択したドメインおよびエンドポイントにツールが配信されるまで少し時間がかかります。「ツールの配信が成功しました」というメッセージが表示されたら、[閉じる] をクリックして [ツールの配信] 画面に戻ります。
9. 必要に応じて[表示更新] ボタンをクリックし、クライアントリストの [配信ステータス] 列でツールの配信ステータスを確認します。エンドポイントでツールの実行が完了すると、ステータスが [配信中] から [完了] に変わります。



ツールの配信をキャンセルする場合は、クライアントリストの上にある [停止] ボタンをクリックします。

配信情報

クライアントツリーには、特定のクライアントに関する詳細情報、および各クライアントとTrend Micro Toolbox間の情報も表示されます。この表に表示される情報は次のとおりです。

- ・ [コンピュータ]: クライアントのホスト名
- ・ [IPアドレス]: クライアントのIPアドレス
- ・ [接続ステータス]: クライアントの現在の接続状態

- ・ [前回配信されたツール]: 管理者がクライアントに最後に配信したツール
 - ・ [配信ステータス]: 最後に配信されたツールのステータス
- 配信ステータスの詳細については、「ツールの配信ステータス」を参照してください。
- ・ [開始時刻]: 管理者がツールを配信した時刻
 - ・ [終了時刻]: 選択したツールの処理がクライアントで終了した時刻



注:

各項目内での並び替えを行うには、列の見出しをクリックします。

- ・ [ページ]: クライアントの検索結果の現在のページ番号が表示されます。他のページを表示するには、矢印アイコンをクリックするか、ページ番号を入力します。
- ・ [1ページあたりの結果数]: 表に表示するクライアント数を選択します。

IPアドレスの検索

フィールドにIPアドレスを入力して特定のエンドポイントを検索します。

1. ツールボックスのコンソールを開きます。[ツールの配信] 画面で、[IPアドレスで検索] リンクをクリックします。
[IPアドレスで検索] 画面が表示されます。
2. 目的のエンドポイントのIPアドレスを入力します。複数のIPアドレスを入力する場合は、改行、カンマ、セミコロン、またはスペースで区切ってください。



注:

[IPアドレス] テキストフィールドの最大文字数は2048文字です。

3. [検索] をクリックします。

[IPアドレスで検索] 画面が閉じ、クライアントツリーの横のリストにIPの検索結果が表示されます。

管理設定

管理者は、次の設定を利用して、Trend Micro Toolboxの機能を設定することができます。

- ・ [ログ設定](#)
- ・ [フィードバック設定](#)
- ・ [アップデート設定](#)

ログ設定

[ログ] 画面では、ログの自動削除の定義、ログの手動削除、およびツールの配信後に作成されたログのダウンロードができます。

ログ設定は次のオプションを使用して設定します。

- ・ [次の日数を経過したログの自動削除を有効にする: ___日]: このチェックボックスをオンにし、サーバにログを保存する日数を指定します。この設定を保存するには、[保存] をクリックします。
- ・ [削除]: 選択したログをリストから削除します。



警告:

- ・ データの損失
 - ・ ログを削除した場合（自動削除も含む）、そのログは [フィードバック] 画面の [ファイル] リストからも削除されます。フィードバックエントリに含まれるログをすべて削除すると、リストにフィードバックエントリが表示されなくなります。必要なフィードバックについては、ログファイルを削除する前に保存するようにしてください。
 - ・ [配信ログ] リスト: 削除するログの横にあるチェックボックスをオンにします。このリストには、既存のログに関する次の情報も表示されます。
 - ・ [日時]: ツールの実行が開始された日時
 - ・ [配信されたツール]: 配信されたツールの名前とバージョン番号
 - ・ [対象]: ツールが実行されたコンピュータのホスト名
 - ・ [結果]: ツールのログファイルの現在のステータス。処理が完了していないツールのステータスは [配信中] と表示され、処理が完了すると [完了] になります。
- 結果の詳細については、[「結果のステータス」](#) を参照してください。
- ・ [ログファイル]: [ダウンロード] をクリックすると、配信されたツールで生成されたすべてのログ情報がダウンロードされます。



注:

- ・ 各ツールで独自のログファイルが生成されます。ファイルの種類やログに含まれる情報はツールごとに異なります。
- ・ [ページ]: リストに現在表示されているページのページ番号が表示されます。その他のログを表示するには、矢印アイコンをクリックするか、ページ番号を入力します。
- ・ [1ページあたりの結果数]: 表に表示するログの数を選択します。
- ・ [保存]: ログの保存日数に対する変更を保存します。

フィードバック設定

フィードバック設定では、ウイルス対策ツールキットで生成されたファイルを分析のためにトレンドマイクロに自動的に送信したり、トレンドマイクロに送信するファイルを選択したり、過去に送信したファイルに関するトレンドマイクロの分析結果を確認したりできます。

**警告:**

- ・ データの損失
- ・ ログを削除した場合（自動削除も含む）、そのログは [フィードバック] 画面の [ファイル] リストからも削除されます。フィードバックエントリに含まれるログをすべて削除すると、リストにフィードバックエントリが表示されなくなります。必要なフィードバックについては、ログファイルを削除する前に保存するようにしてください。

フィードバック設定は以下のように設定できます。

- ・ [自動フィードバックを有効にする]: ツールの配信結果に関するフィードバックをツールボックスからトレンドマイクロに自動的に送信します。この設定を保存するには、[保存] をクリックします。
- ・ [ファイル] リスト: このリストには、既存のログに関する次の情報が表示されます。
 - ・ [日時]: ツールの実行が開始された日時
 - ・ [配信されたツール]: 配信されたツールの名前とバージョン番号
 - ・ [対象]: ツールが実行されたコンピュータのホスト名
 - ・ [ファイル]: トレンドマイクロに送信したファイルを表示または編集します。詳細については、「[トレンドマイクロへのフィードバックの送信](#)」を参照してください。
 - ・ [参照ID]: 表示されるID情報を元にして、トレンドマイクロに送信したファイルに関する詳細情報を問い合わせいただけます。
 - ・ [フィードバック]: [送信] ボタンをクリックすると、ツールで収集した情報が送信されます。ファイルが送信されるまで少し時間がかかります。トレンドマイクロへのファイルの送信が完了すると、[フィードバック] の下に表示されるステータスが [送信中] から [送信済み] に変わります。

**注:**

初期設定では、配信されたツールで生成されるすべてのファイルが送信されます。特定のファイルを送信する場合は、[ファイル] リストの列からファイルを選択します。

- ・ [ページ]: リストに現在表示されているページのページ番号が表示されます。その他のログを表示するには、矢印アイコンをクリックするか、ページ番号を入力します。
- ・ [1ページあたりの結果数]: 表に表示するログの数を選択します。
- ・ [保存]: 自動フィードバックオプションに対する変更を保存します。

トレンドマイクロへのフィードバックの送信

過去にトレンドマイクロに送信したファイルを表示したり、送信するファイルを選択したりできます。

1. ツールボックスのコンソールを開き、[フィードバック] をクリックします。
2. [ファイル] リストの [ファイル] 列で、次のいずれかをクリックします。
 - ・ [表示]: [ファイル] 画面が開き、過去にトレンドマイクロに送信したファイルが表示されます。
 - ・ [編集]: [ファイル] 画面が開き、配信されたツールで収集されたファイルのリストが表示されます。
3. [表示] ドロップダウンリストで特定のエンドポイントまたはすべてのエンドポイントを選択します。
4. トレンドマイクロに送信するファイルを選択するには、ファイル名の左にあるチェックボックスをオンにします。

**注:**

ツールボックスからすでに送信したファイルは、[ファイル] 画面で確認できます。同じファイルが複数回送信されることはありません。

5. [保存] をクリックして選択ファイルのリストを保存し、[フィードバック] 画面に戻ります。

アップデート設定

アップデート設定では、ツールの自動アップデートの設定、ツールの手動アップデートの実行、およびツールボックスで管理するツールの製品ドキュメントを表示できます。

アップデート設定は次のオプションを使用して設定します。

- ・ [ツールの自動アップデートを有効にする]: 既存のツールのアップデートが見つかったときに、ツールボックスで自動的にアップデートをダウンロードします。
- ・ [ツール] リスト: ツールボックスで現在管理しているツールが表示されます。[ツール] リストには次の情報が表示されます。
 - ・ [ツール]: ツールの名前とバージョン番号
 - ・ [説明]: ツールの目的に関する情報
 - ・ [Readme]: ツールのリリースに付属する、最新の製品情報、既知の問題、インストールのヒントなどの重要な情報が記載されたドキュメント。
- ・ [保存]: 自動アップデートオプションに対する変更を保存します。
- ・ [アップデート]: ツールボックスで現在管理しているすべてのツールを手動でアップデートします。



注:

アップデートを実行するには、自動と手動のどちらの場合も、インターネット接続が確立されている必要があります。

サポート情報

製品サポート情報

Trend Micro Toolboxのユーザ登録により、さまざまなサポートサービスを受けることができます。

トレンドマイクロのWeb サイトでは、ネットワークを脅かすウイルスやセキュリティに関する最新の情報を公開しています。ウイルスが検出された場合や、最新のウイルス情報を知りたい場合などにご利用ください。

サポートサービスについて

サポートサービス内容の詳細については、製品パッケージに同梱されている「製品サポートガイド」または「スタンダードサポートサービスメニュー」をご覧ください。

サポートサービス内容は、予告なく変更される場合があります。また、製品に関するお問い合わせについては、サポートセンターまでご相談ください。トレンドマイクロのサポートセンターへの連絡には、電話、FAX、メールなどをご利用ください。サポートセンターの連絡先は、「製品サポートガイド」または「スタンダードサポート サービスメニュー」に記載されています。

サポート契約の有効期限は、ユーザ登録完了から1 年間です（ライセンス形態によって異なる場合があります）。契約を更新しないと、パターンファイルや検索エンジンの更新などのサポートサービスが受けられなくなりますので、サポートサービスの継続をご希望される場合は、契約満了前に必ず更新してください。更新手続きの詳細は、トレンドマイクロの営業部、または販売代理店までお問い合わせください。



注意：

サポートセンターへの問い合わせ時に発生する通信料金は、お客様の負担とさせていただきます。

製品Q&A のご案内

トレンドマイクロのWeb サイトでは、製品Q&A の情報を提供しています。これは、トレンドマイクロの製品に関する技術的な質問と、それに対する回答を集めたものです。製品Q&A には、次の URL からアクセスできます。

製品Q&A

<http://esupport.trendmicro.co.jp/corporate/search.aspx>

製品Q&A では、お使いの製品名およびキーワードを指定して、知りたい情報を検索できます。たとえば製品のマニュアル、ヘルプ、Readme ファイルなどに記載されていない情報が必要な場合に、製品Q&A を利用してください。トレンドマイクロでは製品Q&A の内容を常に更新し、新しい情報を追加しています。

付録A: ステータス情報

ツールの配信ステータス

次の表に、配信されたツールの各種ステータスに関する詳細を示します。

表 1 : ツールの配信ステータスの値

ステータス	説明
配信中	[前回配信されたツール] に表示されたツールをクライアントに適用中かクライアントで実行中です。
完了	[前回配信されたツール] に表示されたツールの処理がクライアントで完了しました。
中止	[前回配信されたツール] に表示されたツールの処理がクライアントで完了する前に管理者が中止したか、システムのタイムアウトが発生しました。
ダウンロード失敗	指定されたツールのダウンロード元のURLが正しくありません。
インポート失敗	指定されたツールのソースまたはファイル形式が無効です。
中断	内部エラーによりツールの処理を完了できませんでした。

結果のステータス

次の表に、ログの各種ステータスに関する詳細を示します。

表 2 : ログの結果ステータスの値

ステータス	説明
配信中	ツールをクライアントに適用中かクライアントで実行中です。
完了	ツールの処理がクライアントで完了し、処理に関するログが収集されました。
中止	ツールの処理がクライアントで完了する前に管理者が中止したか、システムのタイムアウトが発生しました。
再起動が必要	クライアントのシステムを再起動する必要があります。
駆除成功	ツールによってエンドポイントから脅威が駆除されました。
駆除失敗	エンドポイントから脅威を駆除しようとしたが失敗しました。
中断	内部エラーによりツールの処理を完了できませんでした。